



2024-2025年度

クラブ計画書

豊橋ロータリークラブ



国際ロータリー
2024-25 年度会長
ステファニー A. アーチック

2024-25 年度 国際ロータリーテーマ





ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

(付記) 「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、R I 理事会の意見が一致した。

(ロータリー章典26.020)

四つのテスト

THE FOUR-WAY TEST

言行はこれに照らしてから

Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
Is it the TRUTH ?
2. みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned ?
3. 好意と友情を深めるか
Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
4. みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

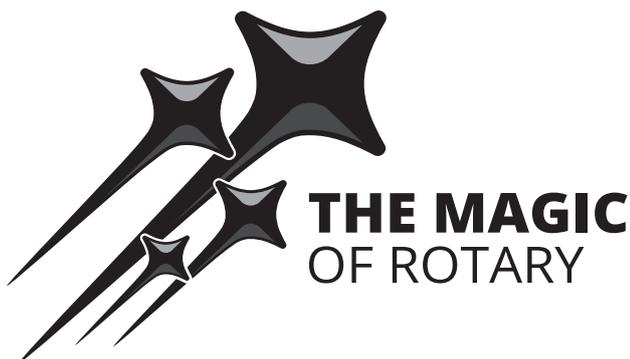
目 次

1	国際ロータリー会長メッセージおよびプロフィール	2
2	国際ロータリー第 2760 地区ガバナー方針およびプロフィール	7
3	国際ロータリー第 2760 地区 東三河分区ガバナー補佐プロフィール	16
4	会長方針	紅 林 友 昭… 17
5	地区委員会およびクラブ役員、理事	18
6	クラブ委員会構成	19
7	収支予算計画書	20
8	プログラム計画	22
9	クラブ概況	24
10	事業計画	27
10-1	クラブ戦略委員会	松 坂 良 太… 27
10-2	幹事方針	青 木 良 浩… 28
10-3	会計方針	大 塩 啓 太 郎… 29
10-4	S. A. A. 方針	高 須 博 久… 30
10-4-1	ニコニコ委員会	松 岡 真 由 美… 31
10-4-2	クラブ運営委員会	小 笠 原 貴 洋… 32
10-5	会長エレクト方針	井 川 和 英… 33
10-5-1	会員増強委員会	小 林 大 悟… 34
10-5-2	会員選考・分類委員会	牧 野 渉… 35
10-5-3	ロータリー情報・ラーニング委員会	佐 藤 裕 彦… 36
10-6	クラブ奉仕委員会	岡 田 直 樹… 37
10-6-1	出席委員会	長 濱 貴 彦… 38
10-6-2	クラブ会報委員会	中 田 昌 宏… 39
10-6-3	親睦活動委員会	山 本 勘 司… 40
10-6-4	雑誌委員会	中 村 典 司… 41
10-6-5	公共イメージ向上	浅 倉 伸 治… 42
10-6-6	プログラム委員会	山 本 貴 浩… 43
10-7	職業奉仕委員会	中 根 研 一… 44
10-8	社会奉仕委員会	伊 藤 恭 三… 45
10-9	国際奉仕委員会	笠 原 元 樹… 46
10-10	青少年奉仕委員会	金 子 幸 義… 47
10-10-1	インターアクト委員会	久 保 田 充 三… 48
10-10-2	ローターアクト委員会	疋 田 涼… 49
10-11	ロータリー財団委員会	福 井 敬… 50
10-12	米山奨学委員会	松 井 和 彦… 51
11	創立 75 周年記念実行委員会	佐 々 木 利 政… 52
12	松本南 R C ・ 豊橋 R C 交歓の歴史	54
13	趣味の会	56

1. 国際ロータリー会長 プロフィール・RI テーマ



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ



**THE MAGIC
OF ROTARY**

**ロータリーの
マジック**

ステファニー A. アーチック

2024-25 年度国際ロータリー会長

McMurray

ロータリークラブ所属
米国ペンシルバニア州

経 歴

McMurray ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)所属。2024-25 年度 RI 会長。RI 理事、ロータリー財団管理委員、研修リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、RI 会長代理など、RI で数多くの役職を歴任。また、3 回の規定審議会で代表議員と特別議員を務める。

ロータリー戦略計画委員会とロータリー財団百周年記念委員会の委員長を務めたほか、選挙審査委員会と運営審査委員会を含むさまざまなロータリー委員会の委員を歴任。

1991 年にロータリーに入会して以来、インドとナイジェリアでの全国予防接種日 (NID) の活動、ベトナムでの小学校建設、ドミニカ共和国での浄水器設置など、さまざまな国際奉仕プロジェクトに参加。複数のスラブ語を学び、ウクライナの新会員の指導にあたったほか、ポーランドでは乳がん検診用の X 線撮影装置と生検ユニットを病院に設置するロータリー財団補助金の調整を担当。ポーランドのクラクフ・ロータリークラブは記念冊子の中で、共産主義後のポーランドにおけるロータリーの復興を手助けした重要人物としてアーチック氏を挙げている。

現在は、人道的・教育的奉仕プロジェクトのために米国内のクラブ・地区がアルバニア、コソボ、ウクライナのロータリークラブとパートナーシップを結べるよう援助している。

高等教育、コンサルティング、エンターテインメント業界における職歴を有し、ペンシルベニア州立インディアナ大学でリーダーシップ研究の博士号を取得。ロータリー財団をはじめ数多くの地元機関・国際機関から賞や表彰を受けている。

2024年国際協議会RI 会長エレクトによるテーマ講演

ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム（the Irresistibles）である2024-25年度地区ガバナーの皆さまに向けてお話しでき光栄です。私が皆さまを「マイファミリー」（私の家族）と呼ぶとき、単に親切心からそうしているわけではありません。本当に、皆さまを家族同様に思っています。

今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。

皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。カメラの準備をしますので、ちょっとお待ちください。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き2倍額を上乗せしますが、年次募金目標である5,000万ドルを私たちが達成することが条件となります。

認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

ありがたいことに、活動をしやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック（魔法）が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。

これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和らぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にあります。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくものです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。地区ガバナーである皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれませんが。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。

心からクラブへの帰属意識を持たずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても、DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終わるわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー（語り部）が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなのです。

そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェロシップがあります。これは、平和と開発

の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、20年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェローシップを提供します。これまでに1,800人以上の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在140カ国以上で活躍しています。

また、オットー&フラン・ウォルター財団（Otto and Fran Walter Foundation）からの1,550万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるバーチェシェヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは2025年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、2025年2月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です（もうすぐ発表する年次テーマではありません）。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。

平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。現地で皆さまにお会いするのが待ちきれません。

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりと別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。

一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケー

ションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

ということで、前置きが長すぎました。2024-25年度のテーマを聞く準備はできていますか？

では、テーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と女兒の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。この会場でその愛を感じることができます。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

この国際協議会は永遠に続くわけではありませんから、どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。束の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

2. 国際ロータリー第 2760 地区ガバナー方針およびプロフィール



国際ロータリー第 2760 地区
2024-25 年度 ガバナー

よしかわ こうしょう
吉川 公章

生 年 月 日 1951 年（昭和 26 年）1 月 19 日
所 属 ク ラ ブ 名古屋南ロータリークラブ
職 業 分 類 病院
勤 務 先 ・ 役 職 社会医療法人宏潤会 大同病院 相談役・名誉理事長
所 在 地 〒 457-8511 名古屋市南区白水町 9

ロータリー歴

2008 年 1 月 名古屋南ロータリークラブ入会
2010-11 年度 出席委員会 委員長
2012-13 年度 理事 社会奉仕委員会 委員長
2013-14 年度 環境保全委員会 委員長
地区奨学基金・学友・
平和フェロシップ委員会 委員
2014-18 年度 地区職業研修チーム委員会 副委員長
2018-19 年度 役員 会長
2019-20 年度 役員 直前会長、
ロータリー研修委員会 委員長、
危機管理委員会 委員長
地区研修委員会 委員
2021-22 年度 地区研修委員会 副委員長
2022-23 年度 地区戦略計画委員会 委員、
地区会員増強委員会 委員、
地区青少年交換委員会 カウンセラー
2023-24 年度 ガバナーエレクト、地区諮問委員会 委員、
立法案審議委員会 委員、
地区戦略計画委員会 委員、
地区危機管理委員会 委員、
地区大会企画委員会 委員、
地区研修・協議会企画委員会 委員、
地区青少年交換委員会 アドバイザー

メジャードナー（Level 1）／ベネファクター／
ポール・ハリス・ソサエティ
ポリオプラス・ソサエティ
第 1 回米山功労者

経歴・公職

《経歴》
1977 年 3 月 日本医科大学 卒業
1977 年 4 月 名古屋市立大学第 2 内科学教室入局
1985 年 5 月 大同病院入職
2004 年 4 月 大同病院 院長
2010 年 4 月 社会医療法人宏潤会 理事長
2018 年 4 月 社会医療法人宏潤会 相談役・名誉理事長
《公職》
名古屋市感染症予防協議会委員
名古屋市感染症予防協議会結核部会会長
名古屋市感染症診査協議会委員
名古屋市公害診療報酬審査会委員
名古屋市公害健康被害認定審査会委員



地区方針・ガバナー特別賞

2024-25 年度 地区方針

「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」

～行動計画 4 つの優先事項にそって戦略計画を～

国際ロータリー会長ステファニー A. アーチック氏は 2024-25 年度国際ロータリーのテーマを「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary) としました。会長は「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。」と述べています。もちろんロータリーのマジックを生み出すのは私たちの活動にかかっています。様々なプロジェクトを終えるたび、寄付するたびに、新会員を迎えるたびにロータリーのマジックを生み出すことができます。

ロータリーの基本はクラブにあります。ロータリーの会員は誰しもが自らのクラブは居心地がよく魅力的で楽しいことを願っています。結果として帰属意識が高まり、会員同士の親睦もより強く育まれます。親睦は奉仕へつながります。ロータリーの奉仕の力は地域で、また世界でインパクトを与え続け、それはやがてロータリーのマジックとなります。クラブのリーダーは会員が魅力的に感じるクラブとするために力を注ぐべきです。クラブを魅力的でないと感じた会員はいつの間にか退会しています。退会者と同じ数の新会員が入会すれば会員数は変わりません。しかしそのようなクラブが元気と言えるでしょうか。国際ロータリーの新入会員数と退会者数がほぼ同数と報告されており、これは動きがないということではなく、遅れをとっていると考えられています。

RI 第 2760 地区は日本一の会員数を誇る地区です。ここ数年コロナ禍においても新会員は決して少なくはありません。しかし残念なことに会員総数は新会員の増加ほど増えてはいません。そうです、残念なことに退会者も一定数いるということです。退会理由はクラブの環境と文化、期待に沿わなかった、経済的・時間的な負担などが理由として挙げられています。やむを得ない理由もあると思いますが、今一度退会者の声に耳を傾け、クラブが魅力的でなかったのか、どうして帰属意識が持てなかったのか、またロータリーの様々な価値をどう受け止めていたか尋ねてください。クラブのリーダーは、自ら「四つのテスト」にそってクラブが運営できているかどうか、もう一度再確認してください。我々が長年大切にしてきた「四つのテスト」で示されている真実、公平、好意と友情、ためになるか (Truth, Fair, Goodwill & Better Friendships, Beneficial) は、それ自体が他の人のことを思いやる心を持つことの大切さを述べております。これはロータリーの基本的な倫理規定でもあります。皆が「四つのテスト」の心でそれぞれ会員に接しているとき、あなたのクラブはとても魅力的なものとなると確信しております。改革が必要な時は躊躇しないでください。今のままでいるためにも、全てを変化させなければいけないこともあります。

我が国だけでなく、世界全体で社会が大きく変化しようとしています。社会がどのように変わろうともそれぞれの地域には奉仕の心と実行力のある人、行動志向のある次世代の人々がいます。伝統あるクラブの会員とは異なるタイプであってもオープンな心で迎え入れなければなりません。DEI (多様性、公平性、インクルージョン) は全てのロータリー会員、ロータリーファミリー、入

会希望者に対して適応されなくてはいけないロータリーの大切な行動規範です。DEIの心を持って接することで、共に共通の目的のために結束できます。今こそロータリーの会員に相応しい高潔性を持って、奉仕の心に満ちあふれた人々がこぞってロータリーの会員となれるよう、我々はDEIの行動規範に照らして対応していかなければなりません。

国際ロータリーは様々な形態のクラブ創設を推奨しています。衛星クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどが挙げられています。私たちの中核的価値（コアバリュー）、すなわち四つのテスト、奉仕と親睦、倫理と高潔さは決して変わることはありませんが、それ以外は従来の形式にとられない新たな形態のクラブが地区に誕生することで我々のロータリーの活動がより盛んになり成長していきます。今一度新たな形態のクラブの設立を企画してください。

私たちは地元のロータリークラブで奉仕を通して世界、地域社会、自分自身に末長く変化をもたらしながら、友情、楽しみ、リーダーシップに焦点を当てた、包括的で有意義な会員体験を提供してきました。そして今、さらにDEIの規範のもと、新たなロータリーの価値をみなさま自身の言葉で多くの人に伝え、新たな会員を迎えて下さい。

国際ロータリーの最優先事項はポリオ根絶です。主に5歳以下の小児が発病するウイルス疾患ですが、感染したお子さんの一部の方に生涯消えることのない四肢麻痺が残ります。麻痺が残った方のその後の人生がいかに困難なものとなるかを想像してみてください。残念なことに現代に至るまでポリオそのものの治療薬はありません。唯一の方法はワクチンによる予防です。我が国では1960年5,000人を超えるポリオの大流行があり、当時非認可のポリオ生ワクチンが緊急に輸入され全国で接種が行われました。翌年には発病は60人と激減しています。数年で我が国からポリオ患者は報告されなくなりました。日本がポリオフリーとなって長い年月が立ちますが、我が国ではポリオの予防接種はもう必要がなくなったのでしょうか？ COVID-19パンデミックでウイルス疾患があつという間に世界中に広がることを思い知りました。世界のどこかでウイルスが生きている限り予防接種を止めることはできません。我が国では現在も年間100億円規模の予算を使いながら、新生児期に4種混合ワクチンとしてポリオワクチンは引き続き投与されています。ロータリーは世界中の人々が安心して生活できるようにするため、ポリオ根絶に奉仕することを決断しました。1985年に民間の国際的な公衆保健イニシアチブとしてポリオプラスが開始され、1988年にはWHOとポリオ根絶推進運動（GPEI）を立ち上げました。当時125カ国で35万以上の患者が報告されています。当初は著名な医療関係者からも「医療と関連のないロータリーがポリオ根絶を目指しているが、無謀なチャレンジでしかない」など批判的な意見もあったと記録されています。みなさん新型コロナウイルス感染対策分科会で会長を務めた尾身茂先生をご存じと思います。先生がWHOのメンバーとして1990年から10年間、西太平洋地域でポリオ根絶を目指していたとき、ワクチン購入の資金不足が大問題でした。その時、友人のロータリアンから資金提供の話が初めてあったと語っています。その後、日本のODAから資金を獲得できました。国際ロータリーが先鞭をつけ、他の援助機関もポリオ根絶計画への拠出に対して積極的になり、大きな歯車が回転し始めたと言っています。当時、中国全土ではほぼ1週間の内に8,000万人にワクチンを投与するという偉業が成し遂げられています。その後、地域でのワクチン投与が継続され2000年には西太平洋地域でのポリオ根絶が宣言されています。これこそロータリーのマジックではないでしょうか。

2023年現在パキスタンとアフガニスタンの国境付近での数人の発生を残すまでになっています。まさに「あと少し」です。ポリオが世界から消えてしまった後のことを想像できますか？ 世界中

の子供たちに予防接種を行う必要がなくなります。アフガニスタン、パキスタンでポリオワクチン投与のために、常に命の危険にさらされながら活動している女性達も、その役割を終えることができます。ロータリーも活動を終了することができます。しかしロータリーの活動がきっかけとなって世界がポリオ根絶のために働いたこと、ポリオのない世界が継続することによるインパクトはなんと大きなものか想像してみてください。あと一歩のために今ポリオプラスに皆さんの力を結集しましょう。

ロータリーは社会がより良くなるために新たな行動計画を定めています。ロータリーのあるべき姿をビジョンで示しています。「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身のために持続可能でより良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。このビジョン声明は、ロータリーが今までの100年以上の歴史で培った素晴らしい活動を、次の100年に向けて持続可能で成長していくためのあるべき姿を示しています。ビジョンを目指すためにロータリーの全ての活動は、行動計画の4つの優先事項に合致して計画されなければいけません。優先事項とは、その活動を終了しても社会にインパクトのある効果が持続しているか (Impact)、活動が広がっており会員基盤の広がりがあるか (Reach)、ロータリー会員や全てのロータリーファミリーのかかわりが促されているか (Engage)、新たな活動のための変革に適応できているか (Adapt) の4つです。ロータリーがあるべき姿と現在の状況にはまだ大きな隔たりがあります。しかし一歩ずつでも進めなければいつまでたってもたどり着けません。無謀と思われたポリオ根絶のための活動も、一歩を踏み出すことで賛同者が増え、ついにあと一歩のところまで到達しています。ロータリーの持続可能な発展のために行動計画の第一歩を進める時です。今一度、年間のクラブ計画を立てる時、個々の事項が優先的事項のどれに相当しているか当てはめてください。そうすることでクラブの活動が行動計画に沿ったものであることが理解され、クラブの活動がさらに活発となることが期待されます。

ロータリーは1904年、シカゴで弁護士のポールハリスが異なる背景やスキルを有する4名の職業人の集まりとして始まりました。そこではアイデアを交換し親睦を高め、お互い信頼ができる取引をしていくことが目的でした。時代のニーズに沿っていたのでしょうか、真摯な職業人の集まりはさらに多くの職業人を引き寄せ、熱心な親睦活動が行われました。ポールハリスの自宅庭園で行われたロータリーの集まりの古い写真を見ると会員の楽しい姿が大変印象的です。わずか5年後には全米に広がり、1920年には日本にも最初のロータリークラブが誕生しています。20年後には世界6大陸に広がりを見せています。親睦から社会に奉仕するという考えが生まれてきたのもまさに必然といえます。1907年のシカゴでの公衆トイレ設置で始まった奉仕活動ですが、さらに活発にしていくためにアーチ C. クランフが財団設立を提唱しました。最初の基金は26ドル50セントからですが、やがてそれは大きなものへと成長し、今やロータリーの奉仕活動をささえる大切な基盤となっています。社会の大きな変革にも関わらず、119年間にわたり確実に奉仕活動が成果をあげ、さらに発展できたのはロータリーと財団の協働作業が成し得た成果です。ロータリーの活動を車に例えると、財団はロータリーを動かすエンジンです。次の100年に向けてさらに世界で良いことをするためにはエンジンを動かし続けていかななくてはなりません。寄付の機会は年次基金以外にも様々なものがあります。恒久基金、ポリオプラス基金、冠名基金、遺贈基金など様々な機会があります。年次基金、ポリオプラスまたは財団が承認した補助金プロジェクトに毎年1,000ドルの寄付をする意志を表明すると、ポール・ハリス・ソサエティの認証を受けることができ、

ポリオプラスに年間 100 ドル寄付することを決めて頂ければ、ポリオプラス・ソサエティの認証を受けることができます。財団への寄付は我々のインパクトのある活動に利用できます。グローバル補助金はロータリーの重点分野に該当する持続可能、測定可能な大規模な国際活動に、地区補助金は地域社会や海外の地域社会のニーズに取り組む比較的規模の小さな短期的な活動を支援します。これらは地域社会の人々が特定した重要なニーズに応え、自力で取り組む力を向上させ、長期的で持続可能で大きなインパクトをもたらします。財団に支えられたロータリーの奉仕活動は世界規模のものだけでなく、多くは地域に根ざした奉仕活動です。しかし活動規模は小さくともインパクトを与えることは可能です。我々の地域での奉仕活動は、終了後も引き続き地域で新たな影響力を発揮しているものも決して少なくはありません。全てのロータリークラブ、ローターアクトクラブがインパクトのある奉仕活動をおこない、持続可能な活動となり、クラブが大きく成長します。様々なインパクトをもたらす財団への寄付をお願いします。

未来に向けてのロータリーの活動は多岐に渡っています。青少年交換留学、RYLA セミナー、グローバル補助金による奨学生、平和フェローシップ、職業研修チーム（VTT）などがあります。また我が国では米山記念奨学会の制度があり、これは世界に誇る我が国独自の事業です。これらに共通の目標はなんでしょうか。それはロータリーが目指す平和構築ではないでしょうか。今、世界はいくつもの紛争が勃発しており、まさに社会は分断されています。平和は誰も持っている願いです。我々の日常的な地域での奉仕活動がすぐに平和構築に結びつくわけではありません。しかし平和は常に我々一人一人が願い、平和構築に向けて努力を行わないと成し得ないものではないかと思えます。ロータリーの平和構築に向けた様々なプログラムに、会員皆様のご協力をお願いします。我が地区ではロータリー平和センター、米山記念奨学会などに素晴らしい貢献をされている会員がみえます。このことは 2760 地区の誇りとするところです。

2019-20 年度に 5 ヶ年計画として開始された行動計画ですが、引き続き次年度にむけてさらに力強く継続していきます。従来から我々が育んできた「四つのテスト」や「中核的価値観」に基づく数々の奉仕活動、末永くつづく自らの成長、友情、楽しみ、リーダーシップなどによるロータリーの価値をそこなうことなく、さらに持続可能で、未来に向けて成長するロータリーの新たな価値を生み出すためにも、継続的な努力が必要です。そうです、長く継続しているロータリーの活動は、組織としての方向性をしっかり維持しなければなりません。このためには会員個々の協力とコミュニケーションの力が最も大切となります。当地区でもガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーは互いに情報交換しながら、地区運営が継続性を持って行われるように協働して活動しています。ロータリーのビジョン達成に向けての様々な取り組みが、地区全体で継続性を持って、より活発に行われることを願っております。ロータリアン、ローターアクター、インターアクターおよび全てのロータリーファミリーの方々と共に、来たるべき輝かしい未来を作るために活動しましょう。全ての活動の成果はやがてロータリーのマジックとなります。Together, Take Action.



活動方針

①クラブ

四つのテストの心で互いに接し、絶えず変化する会員のニーズや期待に応え、会員が帰属意識をもって素晴らしいロータリー体験ができるクラブとしましょう。

クラブの健康チェックをおこない、行動計画の4つの優先事項にそって戦略計画を立案して下さい。ロータリークラブ・セントラルを活用して目標を記録して下さい。

行動計画

<https://my.rotary.org/ja/who-we-are/about-rotary/action-plan>



会員満足度アンケート

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/enhancing-club-experience-member-satisfaction-survey>



クラブの健康チェック

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/rotary-club-health-check>



戦略計画立案ガイド

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/745>



クラブ運営の柔軟性

<https://my.rotary.org/ja/club-flexibility>



新会員オリエンテーションガイド

<https://my.rotary.org/ja/document/introducing-new-members-rotary-orientation-guide>



元気なクラブ作りのために

https://www.icloud.com/iclouddrive/0b7rGber3ywZ_l3Gl-3AYYARQ#%E5%85%83%E6%B0%97%E3%81%AA%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%83%95%E3%82%99%E3%81%A4%E3%82%99%E3%81%8F%E3%82%8A%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AB%EF%BC%9A%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B7%E3%83%BC%E3%83%88



②新たな形態のクラブを創設しましょう

ロータリーの中核的価値を大切にして DEI の行動規範をもとに、従来の形式にはとられない新たな形態のクラブの設立を企画して下さい。新たなクラブについて広報してください。

クラブの種類

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/club-types>



クラブ運営の柔軟性

<https://my.rotary.org/ja/club-flexibility>



③ポリオプラスに貢献して下さい。

10月24日は世界ポリオデーです。クラブ単位でも積極的に世界ポリオデーに参加して下さい。クラブの#ポリオ根絶を記録して下さい。

ポリオ根絶キャンペーンとロータリー公共イメージ向上のため、「ロータリーフードフェスティバル」を引き続き開催します。全員参加でポリオ根絶と公共イメージ向上に努めましょう。

ポリオプラスHP
<https://www.endpolio.org/ja>



クラブのポリオ
根絶活動記録用フォーム
<https://www.endpolio.org/ja/register-your-event>



④「ロータリー財団が自分たちのものであることを忘れない」

バリー・ラシン 2023-24 年度管理委員長が述べています。財団に寄付して支援しましょう。

ポール・ハリス・ソサエティ、ポリオプラス・ソサエティの参加者を増やしましょう。

財団に寄付したことのないロータリアン、ローターアクターの方々に初めての寄付をお願いします。ロータリーの活動の基盤が広がります。

ポール・ハリス
<https://www.rotary.org/ja/about-rotary/history/paul-harris>



2760地区ポリオプラス・ソサエティ
https://www.rotary2760.org/dcs/upload/docs/news/files/5397_1_.pdf



⑤平和構築への貢献

未来を託す青少年の育成プログラムに積極的に関わって下さい。平和を思う心を忘れず常に平和構築を心がけて下さい。青少年交換留学、RYLA セミナー、グローバル補助金による奨学生、ロータリー平和フェロシップ、米山記念奨学会に貢献することは平和構築を目指すことです。

⑥ローターアクトクラブとの連携

ローターアクトクラブが地域、世界でインパクトある奉仕活動が自立してできるように関わりを増やし、帰属意識をもって活動できるように支援を強化しましょう。

⑦愛知ロータリー学友会

2023年12月13日国際ロータリーから正式に認証を受けています。ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、青少年交換プログラム、RYLA セミナー、ロータリー財団奨学生、米山記念奨学生などロータリーのプログラムに参加したすべての方を学友としています。プログラム終了後もロータリーとの関わりを維持することで、公共イメージの向上、将来のロータリー会員へと支援しましょう。

⑧クラブ優秀賞、ガバナー特別賞の獲得を目指して下さい。

⑨ロータリーのブランドを大切にしてください。

ブランドリソースセンターで使用方法を再確認して下さい。共通のシンボルで公共イメージの向上に努めましょう。

My Rotaryブランド
リソースセンター

<https://brandcenter.rotary.org/ja-jp>



⑩ラーニングセンターで自己学習を行いましょう。

ロータリーの各種セミナーは研修から自ら学ぶ「ラーニング」に移行しています。各種セミナー出席前に該当の e-learning を終了しましょう。

ラーニングセンター

<https://learn.rotary.org/members/pages/50/kosukatarogu>



※Mobile機器でアクセスする際はGo Learnアプリのインストールが必要です。

⑪2025年6月21日～25日カルガリーで開催の、ロータリー国際大会にこぞって参加しましょう。

ロータリー国際大会

<https://convention.rotary.org/ja-jp/about>



2024-25年度 ガバナー特別賞

ガバナー特別賞につきまして、以下の「必要条件」及び「選択条件」を達成し、次にあげる成果をクラブ会長より申告されたクラブに授与されます。

【ロータリークラブ】

◎必要条件（三つ全て達成）

- ①クラブ戦略委員会の設置
- ②My ROTARY登録がクラブ会員の50%以上
- ③ロータリークラブセントラルの利用

◎選択条件（どちらか一つを達成）

- ①PHS（ポール・ハリス・ソサエティ）会員が新規で1名以上増加
- ②PPS（ポリオプラス・ソサエティ）への入会がクラブ会員の5%以上

○クラブ会長からの申告内容（どちらか一つもしくは両方）

1. 地区の活動方針に沿って、「有意義な事業」となった活動で、ガバナーも認める成果をあげたクラブ
2. 「米山記念奨学事業」として①②の両方を達成しているクラブ
 - ①クラブ一人平均2万円以上の寄付額を達成（特別・普通寄付合計金額）
 - ②クラブ特別寄付率 80%以上を達成（特別寄付人数÷クラブ会員数）

【ローターアクトクラブ】 ※選択条件はございません

◎必要条件

- ・My ROTARY登録がクラブ会員の60%以上

○クラブ会長からの申告内容

- ・地区の活動方針に沿って、「有意義な事業」となった活動で、ガバナーも認める成果をあげたクラブ

なお、表彰となる期日は2025年3月31日現在といたします。未完の事業は申告時に完了時期を明記してください。また小数点以下は切り上げとします。

3. 国際ロータリー第 2760 地区 東三河分区ガバナー補佐プロフィール



国際ロータリー第 2760 地区
2024-25 年度 東三河分区ガバナー補佐

やすだ ゆきお
安田 幸雄

生 年 月 日 1950 年 (昭和 25 年) 12 月 10 日
所 属 ク ラ ブ 田原ロータリークラブ
職 業 分 類 飼料及び穀物配布
勤 務 先 ・ 役 職 (株)安田商店 取締役会長
所 在 地 〒 441-3426 愛知県田原市大久保町字万五郎 6
E - m a i l 1210yasuda@gmail.com

ロータリー歴

1992 年 3 月 入会
2000 ～ 01 年度 幹事
2009 ～ 10 年度 会長エレクト
2010 ～ 11 年度 会長
2012 ～ 13 年度 東三河分区副幹事
2020 ～ 21 年度 60 周年実行委員会委員長
2021 ～ 22 年度 クラブ戦略委員会委員長

マルチプル・ポールハリス・フェロー + 2
第 4 回米山功労者
ポリオプラス・ソサエティー

4. 会長方針

会長 紅林友昭

クラブテーマ

「集い、学び、そして実践してこそロータリー
～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」

【活動方針】

1. R I テーマと地区方針に沿って実践をしてまいります
2. ロータリーの公共イメージ向上につとめてまいります
3. 創立 75 周年記念実行委員会の事業等の実施に全面的に協力してまいります
4. 重要課題のひとつとして会員増強に取り組んでまいります
5. 豊橋ローターアクトクラブ創立 50 周年記念事業等の実施に協力してまいります
6. 地区補助金等を活用してタイ国ベンジャシリ RC との交流をはかります
7. 松本南 RC との交流をはかります
8. R F F への参加によりポリオ根絶に協力してまいります
9. 「100 万ドルの食事」を実施し R 財団への寄付をすすめてまいります
10. クラブ会員が、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を受容し、行動していけるようその啓蒙につとめてまいります

【運営方針】

- ・出席率が向上するような例会プログラムを企画します
- ・会話が弾むような和みのある例会場となるよう工夫してまいります
- ・ゲスト・ビジターへの心からの「おもてなし」につとめてまいります

1950 年 8 月の創立以来、今日まで 74 年の長きにわたり活動の歴史と良き伝統を積み重ねてまいりました。私が入会したのは 24 年前の 2000 年 3 月で、ちょうど創立 50 周年記念事業が展開されている真っ最中でした。会員全員が一丸となって記念事業での各役割に奮闘していて、入会して間もない私の目には、先輩の皆さん全員が生き活きとし輝いているように映りました。

創立 75 周年記念日である 2025 年 8 月 10 日にむかって、記念事業の多くは今年度前倒しで展開されることとなります。故石川和昌パストガバナーは「大きな事業をやり遂げることでクラブがひとつにまとまる」そう言われたのを覚えております。今またその時がやってきたのです。

さて、私たちは何故にこのロータリークラブに集うのでしょうか。多くの仲間と知り合い、毎週例会場で顔を合わせ 1 時間 30 分の楽しいヒトトキを過ごせるからですか。

私は、ここに集い、共に「奉仕」を学び、会員一人ひとりが学んだ奉仕を実践することが、私達の使命でもあり喜びとなっているからではないかと思えます。私達奉仕をする側が喜びを感じるのと同様に、奉仕の受け手もきっと喜びを感じてくれることでしょう。つまり、奉仕の受け手に喜びを感じてもらうことが、同時に私達の喜びでもあるのです。それが私が今年度上記のクラブテーマを掲げることにした理由です。

とにかく例会に出席し、奉仕を学び、I Serve 奉仕の実践として行動していきましょう。

5. 地区役員、委員およびクラブ役員、理事

【国際ロータリー第2760地区役員、委員会委員】

パストガバナー 村井總一郎

地区諮問委員会	委員	村井總一郎
危機管理委員会	委員	高山 景一
ロータリー財団監査委員会	副委員長	佐々木利政
国際奉仕委員会	委員	岩瀬 清
インターアクト委員会	委員	植村 忠慶
ローターアクト委員会	副委員長	柳原 茂
学友委員会	委員	高山 景一
ロータリー財団委員会	委員長	高山 景一
補助金委員会	委員	久保田充三
米山記念奨学委員会	委員	伊藤 健一
RFF実行委員会	副委員長	佐々木利政
RFF実行委員会	委員	高山 景一

【役員及び理事】

会長	紅林 友昭	理事	中根 研一
副会長	岡田 直樹	理事	伊藤 恭三
幹事	青木 良浩	理事	笠原 元樹
理事・副幹事	山本 貴浩	理事	金子 幸義
会計	大塩啓太郎	会長エレクト	井川 和英
S. A. A.	高須 博久	直前会長	福井 敬

6. 2024 - 25 年度クラブ委員会構成

会 長	紅 林 友 昭	副会長 (クラブ奉仕委員長)	岡 田 直 樹
幹 事	青 木 良 浩	会長エレクト	井 川 和 英
		直前会長	福 井 敬

委員会	委員長	副委員長・補佐	委 員			
クラブ戦略	松坂良太	池田 至	紅林友昭	井川和英	青木良浩	山本貴浩
会 計	大塩啓太郎	内山典弘				
< S.A.A. >	高須博久	高橋豊彦 山口耕平				
ニコニコ	松岡真由美	日野恵里加	宮田正人 松坂良太 河村 修	石黒 功 近藤 眞	三木隆治 石川昌義	佐々木利政 井口貴嗣
クラブ運営	小笠原貴洋	豊田正博 近藤 崇 河合珠美	瀧崎裕司 池田勝年 桃井直人	荒島一実 平林邦幸 辰田拓也	岩瀬 清 浦野文博	山口尚志 中村勝彦
(ソンググループ 代表・副代表)	山本光伸	佐藤裕彦	神野紀郎 福井 敬 宮本順子	渡部茂久 松井孝悦 河合珠美	宮田正人 川村荒治 日野恵里加	権田隆実 久保田充三
<会長エレクト>	井川和英					
会員増強	小林大悟	井上泰宏	神野紀郎	野寄誠三		
会員選考・分類	牧野 渉	富田佳央	小田公平	川村荒治		
R情報・ラーニング	佐藤裕彦 <small>(ラーニング・ファシリテーター)</small>	三浦裕司	村井總一郎	伊藤晴康		
<クラブ奉仕>	岡田直樹	瀧崎裕司				
出 席	長濱貴彦	兼子直久	神谷君和	河合勝男		
クラブ会報	中田昌宏	前田英範 竹内裕二	柳原伸行	小林敏博		
親睦活動	山本勘司	井口貴嗣 河村 修 平林邦幸	山本光伸 浦野文博 河合珠美	瀧崎裕司 中村勝彦 桃井直人	荒島一実 豊田正博 辰田拓也	池田勝年 近藤 崇
雑 誌	中村典司	長屋麻衣子	黒谷尚弘	高橋讓二	岡村正造	山口 進
公共イメージ向上	浅倉伸治	伊藤健一	村雲 晃			
<プログラム>	山本貴浩	杉田 洋	宮田正人			
<職業奉仕>	中根研一	江崎雅彰	杉江秀介	花田邦司	神野吾郎	
<社会奉仕>	伊藤恭三	西島 豊	長屋孝美 岩瀬 清	権田隆実 山口耕平	山田享司 伊藤健一	高橋豊彦 柳原 茂
<国際奉仕>	笠原元樹	植村忠慶	福井恒雄	森田通夫	磯村武司	
<青少年奉仕>	金子幸義	IA/RA 委員長	松井章悟	福井一裕		
インターアクト	久保田充三	深見博士	渡部茂久	西田元彦	長屋麻衣子	
ローターアクト	疋田 涼	宮本順子	鈴木邦夫 江崎雅彰	青木公貞	高山景一	松井孝悦
<ロータリー財団>	福井 敬	縣 政行	吉見本弘	柴田宏巳		
<米山奨学>	松井和彦	鈴木良昌	広中 一			

7. 収支予算計画書

【一般会計】

収入の部

科 目	今年度予算額 (円)	備 考
前年度繰越金	1,500,000	
会 費 収 入	36,300,000	330,000 円×会員数
ビジター会費収入	60,000	4,000 円× 15 名
特別会計より繰入金	2,000,000	
利息その他収入	10,000	利息等
合 計	39,870,000	

支出の部

科 目	今年度予算額 (円)	備 考
<事務局関係費>	7,476,000	
事 務 室 費	700,000	事務室料他
事 務 用 品 費	350,000	事務機リース料・文具・紙代等
通 信 費	310,000	郵送料・電話料他
印 刷 費	700,000	クラブ計画書・報告書
人 件 費	4,236,000	事務局員費
福 利 厚 生 費	700,000	
雑 費	480,000	振込手数料等 (ピアニスト交通費含む)
《クラブ運営費》	14,102,300	
例 会 費	11,652,300	例会食事代
I T 推 進 費	450,000	I T 化推進のための機材・使用料
そ の 他 会 合 費	700,000	理事会・アッセンブリー・他
交 際 費	200,000	慶弔費他
地区行事登録費	400,000	地区委員長会議登録料
次年度準備金	700,000	予備理事会・予備アッセンブリー他
《クラブ活動費》	10,000,000	
運営系委員会活動費	50,000	
S . A . A .	550,000	誕生日記念品
ニ コ ニ コ	100,000	結婚記念祝例会費用・結婚祝記念品費
R 情報・ラーニング	550,000	家庭集会、インフォメーション費用他
出 席	50,000	出席 100%記念品費
ク ラ ブ 会 報	1,600,000	ウィークリー・写真代他
ク ラ ブ 運 営	50,000	
親 睦 活 動	3,850,000	年末家族会・春の家族会・ファミリーデー・年度末懇親会
プ ロ グ ラ ム	300,000	卓話者・講師車代
公 共 イ メ ー ジ	50,000	
奉仕系委員会活動費	100,000	
職 業 奉 仕	100,000	職場見学会
社 会 奉 仕	200,000	T E C 活動支援金他
国 際 奉 仕	700,000	活動支援金、地区補助金、ベンジャシリ RC 交流費他
青 少 年 奉 仕	150,000	R Y R A セミナー登録料他
インターアクト	550,000	I A C 活動助成金、国内派遣研修費他
ローターアクト	850,000	R A C 活動助成金
75 周年記念関係	200,000	
<分担金・寄付金>	6,750,000	
分 担 金	3,800,000	R I ・地区(資金・事業費) 他
購 読 料	400,000	ロータリーマガジン、ロータリーの友 他
R 財団寄付金	2,000,000	
米山記念奨学寄附金	550,000	5,000 円×会員数
< 予 備 費 >	1,541,700	
合 計	39,870,000	

【特別会計】

収入の部

科目	今年度予算額 (円)	備考
入会金	500,000	100,000円×5名
特別事業 口座より繰入	2,000,000	
ニコニコ ボックス収入	2,400,000	
合計	4,900,000	

支出の部

科目	今年度予算額 (円)	備考
積立金	500,000	入会金
特別事業 口座へ繰入	2,400,000	ニコニコボックス収入
一般会計へ繰入	2,000,000	
合計	4,900,000	

【創立75周年記念事業 特別会計】

収入の部

科目	今年度予算額 (円)	備考
特別事業 口座より繰入	15,000,000	前年度繰入済み
合計	15,000,000	

支出の部

科目	今年度予算額 (円)	備考
記念式典・祝賀会等	3,800,000	
記念事業① 【地域奉仕】	7,150,000	公共イメージ向上、小学校向け記念事業他
記念事業② 【寄付など】	2,300,000	豊橋市へ寄付、米山奨学会へ寄付、 豊橋RC昌学会基金
予備費	1,750,000	
合計	15,000,000	

注記：

- 1) 創立75周年記念事業 特別会計は、2024-25年度から2025-2026年度までの複数年度にわたって執行されます。
- 2) 収入に関しては、事業実施に伴う収入が加わる可能性があります。
- 3) 支出に関しては、今後の検討によって各事業の金額が変更となる可能性があります。

8. プログラム計画

◆ 2024 - 25 年度プログラム計画（前半期）

月	日	例会数	通算例会数	プログラム	担当委員会	行事（ロータリー特別月間等）
7	4	1	3590	会長・幹事・副会長・SAA・会計挨拶	理 事 会	母子の健康月間
	11	2	3591	奉仕委員長・副幹事挨拶 TEC 支援金授与式	理 事 会	
	18	3	3592	ローターアクトアワー	ローターアクト	
	25	4	3593	フォーラム「クラブ奉仕」（昼間）	R 情報・クラブ奉仕	
8	1	5	3594	ガバナー補佐訪問	理 事 会	会員増強・新クラブ結成推進月間 豊橋RC創立記念日（1950/8/10）
	8	6	3595	創立記念例会	プログラム	
	15			休会		
	22	7	3596	ガバナー公式訪問（豊橋北 RC と合同）	理事会	
	29	8	3597	インターアクトアワー	インターアクト	
9	5	9	3598	ロータリーの友月間にちなんで	雑誌	基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間
	12	10	3599	社会奉仕について	社会奉仕	
	19			休会		
	26	11	3600	●フォーラム「社会奉仕」（夜間）	R 情報・社会奉仕	
10	3	12	3601	卓話	米山奨学	地域社会の経済発展月間 米山月間 世界ポリオデー（10/24）
	10	13	3602	卓話	プログラム	
	17			休会		
	24	14	3603	結婚記念祝例会	ニコニコ	
	31	15	3604	会員研修について	R 情報・ラーニング	
11	7	16	3605	卓話	ロータリー財団	ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 （11月5日を含む1週間） 地区大会（11/9,10）
	14	17	3606	卓話	プログラム	
	21	18	3607	●TECの報告会（RCC）（夜間）	社会奉仕	
	28			休会		
12	5	19	3608	年次総会、中間報告、国際奉仕事業 報告	プログラム	疾病予防と治療月間
	12	20	3609	●年末家族会（夜間）	理事会・親睦活動	
	19	21	3610	卓話	プログラム	
	26			休会		

●は夜間例会です。

◆ 2024 - 25 年度プログラム計画（後半期）

月	日	例会数	通算例会数	プログラム	担当委員会	行事（ロータリー特別月間等）
1	2			休会		職業奉仕月間
	9	22	3611	新春特別例会	理事会・親睦活動	
	16	23	3612	職業奉仕について (例会後職場見学会)	職業奉仕	職場見学会
	23	24	3613	●フォーラム「職業奉仕」(夜間)	R情報・職業奉仕	
	30	25	3614	年男放談①	プログラム	ポールハリス命日 (1/27)
2	6	26	3615	年男放談②	プログラム	平和構築と紛争予防月間
	13	27	3616	インターアクト卒業生を送る会	インターアクト	ロータリー創立記念日/ 世界理解と平和の日 (2/23)
	20	28	3617	国際奉仕について	国際奉仕	
	27	29	3618	●フォーラム「国際奉仕」(夜間)	R情報・国際奉仕	
3	6	30	3619	地区出向者報告	プログラム	水と衛生月間
	13	31	3620	ファミリーデー	親睦活動	世界ローターアクト週間 (3/13 を含む 1 週間)
	20			休会		東三河 IM (3/8)
	27	32	3621	卓話	プログラム	
4	3	33	3622	公共イメージについて	公共イメージ	環境月間
	10	34	3623	卓話	プログラム	地区研修・協議会 (4/20)
	17	35	3624	卓話	プログラム	春の家族会
	24	36	3625	卓話	プログラム	米山梅吉翁命日 (4/28)
5	1			休会		青少年奉仕月間
	8	37	3626	卓話	プログラム	R F F (5/10,11) <予定>
	15	38	3627	青少年奉仕について	青少年奉仕	
	22	39	3628	●フォーラム「青少年奉仕」(夜間)	R情報・ 青少年奉仕	
	29			休会		
6	5	40	3629	イニシエーションスピーチ	プログラム	ロータリー親睦活動月間
	12	41	3630	卓話	プログラム	RI 国際大会 (6/21 ~ 25) カルガリー
	19	42	3631	●最終例会 (夜間)	理事会・親睦活動	
	26			休会		

9. クラブ概況

【クラブの沿革・事務所・例会状況】

1. クラブ創立年月日・R I加盟認証年月日

創	立	1950年8月10日
R I 加盟承認		1950年8月26日
チャーターナイト		1951年3月17日
チャーターメンバー		22名
スポンサークラブ		名古屋ロータリークラブ

2. クラブ事務所・所在地・郵便番号・電話・F A X・E-mail

〒440-0075 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内
T E L 〈0532〉53-3774 F A X 〈0532〉56-6006
E-mail info@toyohashi-rc.jp

3. クラブ例会場・所在地・郵便番号・電話・F A X

〒440-0888 豊橋市駅前大通1-55 ホテルアークリッシュ豊橋
T E L 〈0532〉51-1111（大代表） F A X 〈0532〉51-1112

4. クラブ例会及び時間

毎週木曜日 12:30～13:30

5. 豊橋ロータリークラブの区域限界

豊橋市にて、豊川を下り関屋通りを南へ広小路通りに至り、右折して萱町通りに至る。萱町通りを南へ牟呂用水に至る。それから牟呂用水に沿って下り、柳生川との合流点より柳生川を上り、国道1号線に至る。国道1号線を東上して、市境に至る東及び北の区域、およびその周辺地域。（1969年2月9日付、R Iより修正の承認を受く）

6. 取引銀行

三菱UFJ銀行豊橋支店、豊橋信用金庫本店営業部、豊橋商工信用組合本店営業部
三井住友信託銀行豊橋支店

7. 歴代会長、幹事及び在籍会員数

年度	会 長	幹 事	会員数 (6 / 30)
50～51	神 野 太 郎	白 井 順 一 郎	28名
51～52	〃	〃	31
52～53	河 合 孜 郎	〃	38
53～54	大 林 正 志	清 水 芳 二	38
54～55	磯 村 弥 八	〃	43
55～56	山 口 唯 次	〃	46
56～57	馬 場 惟 保	山 本 貞	45
57～58	石 川 蹟 次 郎	大 林 茂	46
58～59	磯 村 定 一	杉 浦 和 夫	52
59～60	森 泰 樹	花 田 利 雄	51
60～61	山 本 貞	白 井 晋 介	52
61～62	白 井 晋 介	福 井 盛 太 郎	57
62～63	牧 野 新 二	河 合 圭 吉	61
63～64	青 木 良 雄	神 戸 一 夫	63
64～65	福 井 潤	伴 野 隆 二	65
65～66	杉 浦 和 夫	高 沢 隆	66
66～67	平 野 賢 治	宇 藤 正	68
67～68	成 田 竹 蔵	石 川 和 昌	75
68～69	伊 藤 健 児	紅 林 辰 郎	79
69～70	大 林 茂	小 田 公 平	83
70～71	河 合 圭 吉	神 野 信 郎	87
71～72	花 田 利 雄	石 川 孝 司	96
72～73	堀 重 助	高 山 彦 人	94
73～74	宇 藤 正	磯 村 浩 隆	98
74～75	高 沢 隆	馬 場 康 夫	102
75～76	神 戸 一 夫	伊 藤 昭 彦	102
76～77	伊 藤 志 磨	青 木 德 生	103
77～78	神 野 信 郎	内 山 卯	104
78～79	久 曾 神 昇	石 田 康 太 郎	105
79～80	石 川 和 昌	福 井 恒 雄	110
80～81	杉 田 泰 三	服 部 友 巳	113
81～82	小 田 公 平	石 原 吉 三 郎	116
82～83	佐 藤 茂	神 野 紀 郎	117
83～84	磯 村 浩 隆	川 部 庭 資	121
84～85	伊 藤 昭 彦	森 澄	122
85～86	紅 林 辰 郎	三 浦 多 久 二	123
86～87	青 木 德 生	浅 井 英 成	124
87～88	石 川 孝 司	松 井 英 治 郎	126
88～89	福 井 恒 雄	山 本 博 明	124
89～90	内 山 卯	磯 村 直 英	126
90～91	森 澄	佐 藤 脩 次	128
91～92	伊 藤 松 太 郎	武 田 信 彦	128
92～93	石 原 吉 三 郎	鈴 木 国 雄	131
93～94	神 野 紀 郎	松 井 章 悟	131
94～95	三 浦 多 久 二	磯 村 定 司	130

年 度	会 長	幹 事	会員数 (6 / 30)
95～96	佐 野 清	鈴 木 邦 夫	136
96～97	松 井 英 治 郎	青 木 公 貞	135
97～98	磯 村 直 英	黒 谷 尚 弘	135
98～99	佐 藤 脩 次	八 木 太 平	129
99～00	松 井 章 悟	上 村 健 介	133
00～01	神 野 義 郎	花 田 邦 司	130
01～02	大 島 照 夫	河 合 良 之	121
02～03	青 木 公 貞	竹 内 清 人	120
03～04	長 屋 孝 美	森 田 通 夫	120
04～05	中 西 芳 夫	堀 田 能 正	114
05～06	上 村 健 介	村 井 總 一 郎	118
06～07	黒 谷 尚 弘	宮 田 正 人	119
07～08	石 川 百 代	富 田 佳 央	117
08～09	花 田 邦 司	高 須 博 久	118
09～10	竹 内 清 人	柴 田 宏 巳	121
10～11	村 井 總 一 郎	佐 々 木 利 政	120
11～12	宮 田 正 人	高 山 景 一	120
12～13	石 黒 功	縣 政 行	118
13～14	高 須 博 久	松 坂 良 太	116
14～15	富 田 佳 央	池 田 至	113
15～16	牧 野 涉	紅 林 友 昭	110
16～17	佐 々 木 利 政	山 本 光 伸	109
17～18	鈴 木 良 昌	福 井 敬	114
18～19	高 山 景 一	川 村 荒 治	119
19～20	縣 政 行	石 川 昌 義	117
20～21	権 田 隆 実	近 藤 眞	119
21～22	松 坂 良 太	佐 藤 裕 彦	118
22～23	池 田 至	三 浦 裕 司	111
23～24	福 井 敬	伊 藤 晴 康	105

8. 会 員 (2024年6月30日現在)

8-1 会員の種類	正 会 員	105名
	名 誉 会 員	0名

8-2 最年長者 95 才

8-3 最年少者 39 才

8-4 平均年齢 63.94 才

8-5 以下の項目は前年度クラブ報告書を参照下さい。

① 在籍年数・各年度別純増会員推移

② ロータリー財団

寄付累計額、ポールハリスフェロー、

マルチプルポールハリスフェロー、ベネファクター数

③ 米山記念奨学会

普通寄付累計額・特別寄付累計額・米山功労者

④前年度の出席率・同年度月別出席率・同年度ビジター数

10. 事業計画

10 - 1 クラブ戦略委員会

委員長 松坂良太

副委員長 池田 至

委員 紅林友昭 井川和英 青木良浩

山本貴浩

【基本方針】

当クラブの現状を分析し、75周年から80周年にわたる期間の当クラブの方向性を検討します。

【活動計画】

委員会を開催し、当クラブの現状を分析します。

方向性の検討には、拡大委員会を開催し広く意見を求めます。

10 - 2 幹 事 方 針

幹 事 青木良浩

【基本方針】

ステファニー A. アーチック会長エレクトは、「ロータリーのマジック」を会長テーマとして掲げています。奉仕活動を積極的に行う事を通じて自ら多く学び新しい仲間を増やし、クラブの魅力を高めて更にロータリーの魅力が引き続き高まるよう努めていく重要性を説いておられます。

紅林友昭会長は、「集い、学び、そして実践してこそロータリー～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」をクラブテーマに掲げ、ロータリーの活動の基本である例会に出席し、そこで学んだことを会員それぞれが各自の奉仕活動で喜んで実践する大切さを指針とされています。

来年で75周年を迎える豊橋ロータリーの活動が、おもてなしの心あふれる例会の運営と、各委員会の活発な活動と相互協力に支えられながら進んでいくよう、会務全般に取り組みます。また、理事会・アッセンブリーや諸行事の円滑な運営に努めます。

【活動計画】

1. 年次総会

2024年12月5日（木）に年次総会を開催いたします。

2. 理事会

定例理事会は、原則として12回、下記の通り開催いたします。

2024年 7月 4日（木） 8月 8日（木） 9月 5日（木）

10月 3日（木） 11月 7日（木） 12月 5日（木）

2025年 1月 9日（木） 2月 6日（木） 3月 6日（木）

4月 3日（木） 5月 8日（木） 6月 5日（木）

3. クラブ協議会（アッセンブリー）

クラブアッセンブリーは原則として4回、下記の通り開催いたします。

2024年 7月 11日（木） 8月 1日（木）

2025年 2月 13日（木） 6月 5日（木）

4. 松本南ロータリークラブとの窓口を担当します。

5. クラブの運営

例会・理事会・アッセンブリーの準備や会員への連絡を、会長及び担当者との間で調整を取りながら進めて参ります。

6. 全委員会が75周年活動を意識した活動を積極的に行うよう、促していきます。

10 - 4 S. A. A. 方 針

S. A. A. 高須博久 補 佐 高橋豊彦 山口耕平

【基本方針】

本年度紅林会長のクラブテーマ「集い、学び、そして実践してこそロータリー～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう」に沿って例会を運営します。

豊橋ロータリークラブらしく、規律正しい中にも爽やかで和やかな例会を実践すべく努力いたします。「グッドミール」「グッドスピーチ」「グッドアトモスフィア」をお楽しみいただきます。

クラブ運営委員会・ニコニコ委員会・ソングリーダーグループと力を合わせて、会員の皆様から「例会に出席したら元気が出た」と言われるように努めて参ります。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 席は原則自由ですが、会長・幹事・プログラム委員長・担当委員長・卓話者・紹介者・ゲスト・ビジター・誕生祝該当者は指定席とします。
2. 会場の室温・マイクの音量等を最適に保つように努めます。
3. テーブル毎に「テーブルマスター」を配置し、同席者への配慮をしていただきます。また、テーブルに顔写真入りの会員名簿を置き、会員同士の交流に役立てていただきます。
4. ビジターを「おもてなしの心」でお迎えします。
5. 食事の開始は原則12時10分とします。
6. 食事は和・洋・中華を中心に、季節や例会の特性に合わせて献立を工夫します。
7. 年2回ほど「百万ドルの食事」と称して簡素なメニューを提供し、食事代の一部をロータリー財団に寄付します。
8. 例会の場を和らげるために、冒頭に歌を歌います。ソングリーダーグループに選曲と指揮をしていただきます。
9. ニコニコ委員会には会員のお喜び情報を収集するとともに、ユーモアを交えた発表をしていただき、お喜びを皆様の拍手でお祝いします。
10. 会場内でお気づきの事がありましたら、S.A.A.までお申し付けください。

10 - 4 - 1 ニコニコ委員会

委員長 松岡真由美

副委員長 日野恵里加

委員 宮田正人

石黒 功

三木隆治

佐々木利政

松坂良太

近藤 眞

石川昌義

井口貴嗣

河村 修

【基本方針】

会員の皆様の公私にわたるお祝い事をご披露して頂き、会員相互で共有し、コミュニケーションを深め、楽しい例会作りをお手伝いして参ります。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 会長方針にあります和みのある例会場を意識して、明るいニコニコ受付を心がけます。
2. おもてなしの心を大切にし発表に際しては、お名前の読み間違いに注意致します。
3. 結婚記念祝例会では、会員ご夫妻の節目の年を祝福し、笑顔になって頂ける例会を心掛けたいと思います。

10 - 4 - 2 クラブ運営委員会

委員長 小笠原貴洋

副委員長 豊田正博

委員 瀧崎裕司

山口尚志

浦野文博

辰田拓也

近藤 崇

荒島一実

池田勝年

中村勝彦

河合珠美

岩瀬 清

平林邦幸

桃井直人

【基本方針】

本年度のクラブテーマ「集い、学び、そして実践してこそロータリー ～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」に基づき、会員相互が集い、楽しく学び、奉仕の実践に繋がるような充実した例会運営となるように努めて参ります。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. S.A.Aのご指導の下、参加される会員の皆様、ゲスト、ビジターで訪れる皆様に対して、気持ちよく過ごしていただける例会場の雰囲気づくりや運営に努めます。
2. 例会場が和やかな雰囲気になるよう各テーブルにテーブルマスターを配置します。
3. 例会の進行、歌詞等はプロジェクターを使用し、会場全体から確認できるように適切な配置を心掛けます。
4. カーボン・ニュートラルの観点より、出席委員会とも連携し、食事の数量をできる限り余らせないように努めます。
5. 創立75周年実行委員会に対して支援を行います。

10 - 5 会長エレクト 方針

会長エレクト 井川和英

【基本方針】

本年度会長エレクトとして下記の3委員会を担当します。

会長方針に従い、3委員会の皆さんと連携を図りクラブの発展に努めて参ります。

会長エレクトとして次年度に繋げることができるようしっかり勉強させていただきます。

創立75周年記念事業に協力いたします。

会員増強委員会	委員長	小林大悟
会員選考・分類委員会	委員長	牧野 渉
ロータリー情報・ラーニング委員会	委員長	佐藤裕彦

10 - 5 - 1 会員増強委員会

委員長 小林大悟

副委員長 井上泰宏

委員 神野紀郎 野寄誠三

【基本方針】

クラブテーマ『集い、学び、そして実践してこそロータリー～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～』を実践し、豊橋ロータリークラブの良さを知っていただき、一人でも多くの方に入会していただけるように活動してまいります。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 会員の皆様に候補者の情報提供と推薦の協力をお願いいたします。
2. 職業分類に沿って、豊橋ロータリークラブ会員に相応しい方々に入会を勧めます。
3. 会員選考委員会とのコミュニケーションを取りながら活動を進めます。
4. 年間を通じて積極的に会員増強及びクラブの魅力の発信に努めます。

10 - 5 - 2 会員選考・分類委員会

委員長 牧野 渉

副委員長 富田佳央

委員 小田公平 川村荒治

【基本方針】

会員増強委員会並びに会員より推薦のあった候補者を会員資格条件に照らし合わせ委員会にて評価し理事会に報告する

会員は善良さ、高潔さリーダーシップを身をもって示し、職業上及び地域社会でよい評判を受けており、地域社会及び世界において奉仕する意欲のある成人とする

会員はその事業、専門職務、または社会奉仕の種類に従って分類されるものとし、職業分類は本人の所属する会社、企業、団体の主要かつ一般世間がそのように認めている事業活動を示すものか、一般世間がそのように認めている事業または専門職か、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 会員候補者を基本方針に基づき委員会にて評価し理事会に報告する
2. 関係委員会との協力を積極的に進める

10 - 5 - 3 ロータリー情報・ラーニング委員会

委員長 佐藤裕彦（ラーニング・ファシリテーター兼任）

副委員長 三浦裕司

委員 村井總一郎 伊藤晴康

【基本方針】

クラブテーマ【「集い、学び、そして実践してこそロータリー ～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」】の下、クラブフォーラム、担当例会、新会員候補者へのインフォメーション、家庭集会等を通じて、会員皆様へロータリーの様々な情報を伝えると共に、ロータリーに関する知識の向上に繋がる活動を推進していきます。

【活動計画】

1. クラブフォーラムの開催

第1回	クラブ奉仕について	（クラブ奉仕委員長）	7月25日
第2回	社会奉仕について	（社会奉仕委員長）	9月26日
第3回	職業奉仕について	（職業奉仕委員長）	1月23日
第4回	国際奉仕について	（国際奉仕委員長）	2月27日
第5回	青少年奉仕について	（青少年奉仕委員長）	5月22日

上記5委員長をフォーラム・リーダーとして、今年度クラブテーマに沿ったフォーラムテーマを設定し、参加者全員で意見交換をし、五大奉仕に関する理解が深められるようなフォーラムを開催します。

2. 担当例会

10月31日には会員研修のための例会を開催し、クラブ会員の皆様にロータリーの理解をより深めていただくための情報を提供したいと思います。

3. インフォメーション

新会員候補者にロータリークラブ創立の精神、歴史、ロータリーの理念・目的、活動内容のほか、豊橋ロータリークラブの歴史と伝統を理解していただき、クラブ入会后積極的な参加及び活発な活動につながるような情報を提供します。

4. 家庭集会

ロータリー活動を充実したものとするために、会員相互の交流を深める集会を企画します。その中でロータリーの知識を深められるよう情報を提供し、今後の活動に対して更なる活躍につながる機会と位置づけた集会を開催します。

10 - 6 クラブ奉仕委員会

委員長 岡田直樹

副委員長 瀧崎裕司

【基本方針】

今年度の紅林会長のクラブテーマ「集い、学び、そして実施してこそロータリー」を軸として、奉仕を学び、喜びを共有できるような、魅力のある例会運営を実践するために関係各委員会と協力して活動してまいります。また、75周年の事業に協力していきます。

【活動計画】

7月25日のフォーラムでは、クラブ奉仕のテーマとして「魅力のある例会運営をしよう」をフォーラムのタイトルとし、会員皆様が、楽しくロータリー活動が出来るように、奉仕を学び、実践するために、先輩会員、関係委員長からお話をいただき、有意義なフォーラムにしたいと思います。

10 - 6 - 1 出席委員会

委員長 長濱貴彦

副委員長 兼子直久

委員 神谷君和 河合勝男

【基本方針】

本クラブの定款に「各会員は本クラブの例会、あるいは衛星クラブの例会に出席し、本クラブの奉仕プロジェクト、行事、およびその他の活動に参加するべきである。」とあるように、例会への出席はロータリアンとしての権利であり、ロータリーの奉仕活動の原点であるということは会員の皆様の周知のことではありますが、本年度は「出席したくなる例会とは」ということも考えて活動して参ります。

各会員が例会に出席することによって友情や親睦を深め、共に楽しむことがロータリーの発展に繋がることを念頭におき、出席率向上を目指します。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 例会への出席と欠席の際の事前連絡、メーキャップの推奨をしてまいります。
2. 出席にかかわる情報を提供してまいります。
3. 前年度出席率 100%達成者の表彰を行います。

10 - 6 - 2 クラブ会報委員会

委員長 中田昌宏

副委員長 前田英範 竹内裕二

委員 柳原伸行 小林敏博

【基本方針】

本年度のクラブテーマである「集い、学び、そして実践してこそロータリー～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」の下、例会と活動を記録し、活気あるクラブ会報誌を作成します。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 会報誌（Weekly）にて、例会内容を分かりやすく正確に記録し、和やかな例会会場の様子を報告していきます。
ゲスト、ビジターの方々にも配慮し、喜んでいただけるような会報誌を目指します。
2. 記録誌作成を意識し、例会風景などの写真を適切に保存します。
3. 出席の関心を刺激して、出席率を高めるような情報発信を行います。
4. クラウドを活用し、効率よくスピーディーな運営、情報提供を目指します。

10 - 6 - 3 親睦活動委員会

委員長 山本勘司

副委員長 井口貴嗣

委員 山本光伸

池田勝年

豊田正博

桃井直人

平林邦幸

瀧崎裕司

浦野文博

近藤 崇

辰田拓也

河村 修

荒島一実

中村勝彦

河合珠美

【基本方針】

『集い、学び、そして実践してこそロータリー ～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～』のクラブテーマのもと、会員の皆様やご家族様に楽しくお過ごしいただける企画・運営をさせていただきます。そして、親睦の活動を通じて会員同士の相互理解が深める様に活動して参ります。また、75周年記念事業の成功に向けサポートをしていきたいと思ひます。

【活動計画】

1. 年末家族会の企画運営
2. 新春特別例会の企画運営
3. ファミリーデーの企画運営
4. 春の家族会の企画運営
5. 最終例会の企画運営
6. その他親睦の為のお手伝い

10 - 6 - 4 雑誌委員会

委員長 中村典司

副委員長 長屋麻衣子

委員 黒谷尚弘 高橋譲二 岡村正造

山口 進

【基本方針】

「ロータリーの友」を通じて、国内外のロータリー活動を把握し、会員のロータリー精神の向上に努めるとともに、豊橋ロータリー75周年記念事業の実施に協力してまいります。

【活動計画】

1. 毎月の例会において、担当雑誌委員より「ロータリーの友」の読みどころを紹介する。
2. 各委員が感じたことを自らの言葉で伝えることにより、「友」への関心を高める。
3. 他のクラブの考えや行動を知ることにより、当クラブの意識を高める。
4. 雑誌委員会担当例会を行う。
5. 75周年記念事業の実施に向けて協力していく。

10 - 6 - 5 公共イメージ向上委員会

委員長 浅倉伸治

副委員長 伊藤健一

委員 村雲 晃

【基本方針】

地域のニュースを提供する報道機関に対して情報提供による働きかけをいたします。また、創立75周年に向けてホームページやSNSなどを通じて、ロータリークラブの理念や活動を広く発信することで、地域社会にロータリーの認知を高めてまいります。

【活動計画】

1. クラブの年間計画に基づき、例会、活動方針、各種事業の広報宣伝を実施し、ロータリークラブの理念や、活動内容を幅広く地域に発信します。
2. ホームページ、SNSを活用して、ロータリークラブの公共イメージ向上に繋がる活動を発信します。
3. 「交流の窓」でクラブ内の各種行事の報告を発信して、会員相互の情報共有ができるようにします。
4. 理事会、各委員会、75周年事業実行委員会と連携を取り、開催告知、事業内容の発信等を効果的に行い、広く地域社会でのロータリーの認知を高める活動を行います。
5. 報道機関からの問い合わせ等に対し、迅速かつ的確な対応を行います。
6. 公共イメージ向上のための例会を実施します。

10 - 6 - 6 プログラム委員会

委員長 山本貴浩

副委員長 杉田 洋

委員 宮田正人

【基本方針】

本年度クラブテーマ「集い、学び、そして実践してこそロータリー」に沿って、奉仕の学びと親睦を深めるよう充実したプログラム作りに心がけ、よい例会を企画し、さらに「75周年記念事業」の実施に向け協力してまいります。

【活動計画】

1. 年間プログラムについては過去のプログラムを参考にし、魅力ある例会を企画します。
2. 理事会担当例会は、担当者と充分協議しプログラムを作成します。
3. 五大奉仕に該当する例会は、R情報ラーニング委員長及び担当委員長とよく協議しプログラムを作成します。
4. 卓話については、理事会メンバーはじめ会員の皆様から情報をいただき、魅力あるスピーカーをお呼びします。また会員の皆様にも卓話をお願いし、会員相互の理解と知識、見識を広げるよう努めます。
5. プログラムの内容は会長・幹事・S.A.A.等のほか、関係各位に相談の上決定します。
6. 各例会のプログラムの内容は、クラブの公式ホームページを通して事前にできるだけ早く、分りやすく会員にお知らせし、出席率向上に繋げられるように努めます。

10 - 7 職業奉仕委員会

委員長 中根 研一

副委員長 江崎 雅彰

委員 杉江 秀介 花田 邦司 神野 吾郎

【基本方針】

「ロータリーの根幹は職業奉仕にある」と言われる「職業奉仕」については、「職業サービスを念頭に相手の立場に立った職業活動を行い、相手の喜びを自分の喜びとしながら、職業人としてのより高い倫理の向上に努め、世界の中に広めていくこと」と解釈されています。

その実践の為には、本年度のクラブテーマ「集い、学び、そして実践してこそロータリー～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」に則って、会員同士が今まで以上に交流を深めて行動し、お互いの個性の尊重、ならびにお互いの職業についての理解を深めることを通して、社会での奉仕プロジェクトに活かしていくことが大切になります。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 例会

職業奉仕の精神をもって第一線で活躍されている方に卓話を行って頂くことで、会員一人一人が職業奉仕への理解を深め、職業活動の質を高めて頂くヒントとしたいと思います。

2. クラブフォーラム

ロータリアン各自が社会に奉仕する機会として自己の職業を高潔性のあるものにするにはどのような実践が必要かを考え、それを共有する場としたいと思います。

3. 職場見学会

基本理念や奉仕の精神を具現化されている地元の事業所を見学させて頂くことで、職業人としてのより高い倫理の向上ならびに自己の職業活動を高めて行くことに結びつける機会としたいと思います。

10 - 8 社会奉仕委員会

委員長 伊藤 恭三

副委員長 西島 豊

委員 長屋 孝美 権田 隆実 山田 享司

 高橋 豊彦 岩瀬 清 山口 耕平

 伊藤 健一 柳原 茂

【基本方針】

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを推奨、育成することです。今年度の RI テーマ、地区方針、そしてクラブテーマ「集い、学び、そして実践してこそロータリー ～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」のもと、会員が奉仕活動に参加をして喜びを感じる企画を計画します。

豊橋ロータリークラブが続けてきた、RCC (TEC) の支援活動も続けて継続をしていきます。

そして豊橋ロータリークラブ創立 75 周年に向け、実行委員会の計画に沿って会員の皆様とともに実践していく事業にしていきたいと考えます。

【活動計画】

1. RCC (Rotary Community Corp) の活動である、TEC (Toyohashi Education Circle) を支援します。そしてその活動の報告会を企画します。
2. 社会奉仕についての例会とフォーラムを担当します。
3. 豊橋善意銀行をはじめ、社会奉仕活動を行っている諸団体へ協力支援をします。
4. ロータリー会員以外の市民の方々と共にボランティア活動や市民参加のイベントの企画を検討します。
5. 豊橋ロータリークラブ創立 75 周年の記念事業を会員の皆さんの参画のもとで実行します。

10 - 9 国際奉仕委員会

委員長 笠原元樹

副委員長 植村忠慶

委員 福井恒雄 森田通夫 磯村武司

【基本方針】

目まぐるしく変化し続ける世界情勢において平和を広げる為には、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。いわば国際的なプロジェクトでボランティアの実施や、海外パートナーとの協同活動を通じて、相互理解を推進することであると理解しております。本年度はそれらを念頭に豊橋RCらしい国際奉仕活動を推進してまいります。

長きにわたり継続している、タイ国バンコク・ベンジャシリRCとの共同事業である「チェンライ県ラックペンディング村周辺における山岳民族定住化支援活動」も、山岳民族の自立に向けた生活環境整備支援事業へ発展し続けております。本年はクラブテーマである「集い、学び、そして実践してこそロータリー～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」の下、現地に出向き実践し、奉仕活動を通じロータリーのマジックを体感し、関わる全ての方々と喜びを分かち合えるような活動に努めます。

例会やフォーラムの開催においては、会員皆様に国際奉仕とは何かを様々な視点で捉え改めてロータリーの役割について考えて頂く機会にしたいと思っております。さらにカナダにて開催される国際大会には、一人でも多くの会員に参画していただき、その素晴らしさを共有していただけるよう鋭意努力してまいります。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 地区補助金を活用したプロジェクトの推進、支援活動
2. 姉妹クラブであるタイ国バンコク・ベンジャシリRCとの友好関係・交流活動の継続
3. 国際奉仕に関する例会とフォーラムの開催
4. RI国際大会（2025年6月21日～25日 カルガリー（カナダ））の案内と準備
5. 75周年記念事業への積極的な参画

10 - 10 青少年奉仕委員会

委員長 金子幸義

副委員長 久保田充三 疋田 涼

委員 松井章悟 福井一裕

【基本方針】

本年度のR Iテーマは「ロータリーのマジック」です。次世代を担っていく若者の成長において、自主的な奉仕活動を支援し「自立」と「帰属意識」を育むことができたなら、まさに「マジック」と言い得ます。

豊橋商業高校インターアクトクラブ、豊橋ローターアクトクラブの活動を尊重し、その活動を支えるインターアクト委員会、ローターアクト委員会のメンバーと「集い」と「学び」を通じて75年目を迎える豊橋ロータリークラブとしての「ロータリーのマジック」を「実践」していきます。

【活動計画】

1. インターアクト、ローターアクト各委員会及び委員長と連携し、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの活動支援をします。
2. 青少年奉仕月間に青少年奉仕についての例会とフォーラムの開催をします。
3. 青少年育成に関する各種プログラムに参加し、活動に協力します。
4. 地域における青少年奉仕に関わる各種活動に参加し、協力します。

10 - 10 - 1 インターアクト委員会

委員長 久保田充三

副委員長 深見博士

委員 渡部茂久 西田元彦 長屋麻衣子

【基本方針】

I A Cの目的、「奉仕活動はインターアクトクラブ活動のエッセンス（本質）です。」
奉仕活動を通じてインターアクターは、

- ①指導力を高め、誠実な人格を育成してリーダーシップを高めます。
- ②他者を助け、他者を尊重することの大切さ思いやりの心を学びます。
- ③各人の責任を果たし、懸命に努力することの尊さ、責任感、人間力を向上させます。
- ④国際理解と親善の推進をはかり、個人として、団体として進むべき道を切り開きます。

豊橋ロータリークラブインターアクト委員会では、こうした目的を持って活動をしている豊橋商業高校 I A C 対し、ロータリアンとしての効果的な協力と支援を行います。

豊橋ロータリークラブと豊橋商業高校 I A C の会員が相互に理解を深められるよう、例会や諸行事などの交流活動の場を設けます。また、青少年奉仕委員会と連携し、相互に協力した活動を行っていきます。

こうした豊橋ロータリークラブと豊橋商業高校 I A C の活動を通じて今年度のクラブテーマ「集い、学び、そして実践してこそロータリー～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～」を実践して参ります。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 豊橋商業高校 I A C を招くなど、次のように例会・行事を開催します。

- ・豊橋商業高校校長・I A C 顧問教諭との懇談会
- ・I A C 新入生歓迎会（テーブルマナー講習）
- ・例会（インターアクトアワー）
- ・豊川高校 I A C ・桜丘高校 I A C との合同行事
- ・例会（I A C 卒業生を送る会）

2. 豊橋商業高校 I A C の活動を支援します。

I A C の例会や諸行事に協力します。

10 - 10 - 2 ローターアクト委員会

委員長 疋田 涼

副委員長 宮本 順子

委員 鈴木 邦夫

松井 孝悦

青木 公貞

江崎 雅彰

高山 景一

【基本方針】

豊橋ローターアクトクラブ（RAC）は豊橋ロータリークラブが提唱クラブとなり、1975年に発足しました。

RACは、18歳以上の人々が集まって地域社会のリーダーと意見交換し、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら奉仕活動を行います。

豊橋ロータリークラブではローターアクト委員会が中心となり、市内の他4RCとともに奉仕のパートナーとしてRACの活動を支援します。

少子化に伴いRACの会員は減少傾向にあり、継続的な活動のため会員増強が喫緊の課題となっています。

RACの活動を身近に感じ、多くのメンバーを推薦していただくため、ロータリアンのRAC例会への参加を促し、交流と活動理解を深めます。

また、豊橋RC創立75周年記念事業の実施に協力してまいります。

【活動計画】

1. RACの会員増強に協力します。
2. RAC会員とロータリアンの交流を図ります。
3. RACの例会・活動に積極的に参加します。
4. RACの運営が円滑に行えるよう支援と助言を行います。
5. 豊橋RAC 50周年のため、協力を行っていきます。

10 - 11 ロータリー財団委員会

委員長 福井 敬

副委員長 縣 政行

委員 吉見本弘 柴田宏巳

【基本方針】

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

そして、ロータリー財団は100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。

一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。そのためには会員の皆様のご理解を得られるように努め、ご協力をいただき目標を達成いたします。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. ロータリー財団について会員の皆様が深く理解できるような例会を企画いたします。
2. ポリオプラス資金：一人当たり30ドル以上の目標達成
3. 年次基金：一人当たり150ドル以上の目標達成
4. 恒久基金：クラブ1名以上（ベネファクター）の目標達成

10 - 12 米山奨学委員会

委員長 松井和彦

副委員長 鈴木良昌

委員 広中 一

【基本方針】

米山記念奨学事業は、全国のロータリアンからの寄付金を財源とし、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会を通じて日本の大学・大学院で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給する支援事業です。

奨学生はロータリークラブを通して日本文化・習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

この事業の意義を会員に理解していただけるように努めると共に、米山奨学生との積極的な交流を図っていきます。

また、75周年記念事業の実施に協力して参ります。

【活動計画】

1. 米山奨学生の支援
2. 米山功労者と米山功労法人の増強
3. 米山奨学事業の理解を求める活動、及び担当例会の実施

11. 創立 75 周年記念実行委員会

委員長 佐々木利政
副委員長 佐藤裕彦

メインテーマ ～『集いて図る心はひとつ』～

ロータリーで奉仕をする仲間たちと交流を深めたいと次の3つを75周年事業の重点活動と考えています。

- ①思いやりの心を意識し、会員がこぞって75周年記念行事に参加します。
- ②ロータリークラブとして地域社会に向けた奉仕活動を行います。
- ③地域における豊橋ロータリーの公共イメージの向上を図ります。

サブテーマ ～『広がれ回れ奉仕の歯車』～

豊橋ロータリークラブの奉仕の歯車は、75年間回ってきました。歴史と伝統を振り返り新しく前を見据えてロータリー活動を目指していきましょう。会員全員に協力していただき奉仕の歯車を回しましょう。

【実行委員会構成】

部 会	部 会 長	副 部 会 長	委 員	推 進 リーダー
総務・広報・記録	岩瀬 清	久保田充三		高須博久
式 典	井口貴嗣	河合珠美	深見博士	佐々木利政
祝賀会	伊藤健一	小笠原貴洋	金子幸義	佐々木利政
記念事業①	伊藤恭三	柳原 茂		佐藤裕彦
記念事業②	笠原元樹	植村忠慶		大塩啓太郎
会 計	伊藤晴康	中村典司		縣 政行

*各事業においてクラブ全会員のご協力をお願いします。

【これまでの経緯】

- ・2023年7月20日、第1回豊橋ロータリークラブ創立75周年記念特別委員会が招集され、以後2024年1月24日までに総計5回の委員会が開催されました。
- ・2023年12月7日の臨時総会にて、特別委員会の活動状況と創立75周年実行委員会を組織する予定が報告されました。

【基本方針】

1950年8月10日に創立され75年目を迎えます。

当クラブは当初75周年イベントや講演会を企画しようと考えていました。

しかし、今回の周年事業は多くの地域の人にロータリーのことを理解していただきロータリークラブがどのような奉仕団体かを少しでも知っていただけるような事業を

行うことに致しました。地域を巻き込んだ事業を行うことによってロータリークラブの公共イメージの向上に繋がるとともにロータリークラブの活動を理解していただく機会にもなります。多くのクラブの会員にご理解とご協力をいただきながらクラブ全体の事業として全員一丸となって周年事業を行いたいと思っています。

2025年8月10日の75年目当日には例会として記念式典及び記念祝賀会を開催いたします。会員ご家族とともにご出席を宜しくお願いいたします。

【活動計画】

1. 75周年特別委員会のもと予算及び事業の推進を行う。
2. 公共イメージ向上のためロータリークラブがポリオ根絶活動にかかわっているかをPRするとともに、映像などの広告媒体で市民に知っていただく。
3. ポリオ根絶に対するキャンペーン事業を実施。
 - ①豊橋市の小学生に協力をお願いしボトルキャップ回収事業を行い、ポリオに対する理解を深める。
 - ②『夢ギフト講演』を全小学校で開催する。
 - ③75周年記念オリジナルポリオデザイン切手を作成販売し、切手流通によりポリオ根絶活動の理解を深める。
4. 各団体への寄付。
 - ①豊橋市（牛川の渡しに関する事業費・市内小学生へ夢ギフト講演事業費として）
 - ②ロータリー財団（75周年記念オリジナルポリオデザイン切手の販売収益を寄付）
 - ③米山記念奨学会
 - ④昌学基金の設置（期間限定）

創立75周年記念特別委員会

委員長 村井總一郎

副委員長 高須博久 佐々木利政

委員 縣政行 佐藤裕彦 大塩啓太郎 岩瀬清

井口貴嗣 伊藤健一 伊藤恭三 笠原元樹

福井敬 伊藤晴康 紅林友昭 青木良浩

井川和英 山本貴浩

【活動内容】

75周年実行委員会を組織するうえで必要な予算、組織、事業の企画及び管理などの監督をする中枢的な組織にしてあります。

主に、予算の内訳や事業の推進を確認しながら進める特別委員会です。また、方向がずれていかないための組織として実行委員会を見守っていきます。

12. 松本南RC・豊橋RC交歓の歴史

開催年月日	豊橋RC		松本南RC		懇親会	親睦ゴルフ会	その他
	会長	幹事	会長	担当委員長			
87年 5月26、27日	青木徳生	高沢 隆	赤羽正久	酒井知彦	東 急 イ ン	穂 高 カ ン ト リ ー	安曇野を観光
88年 2月25、26日	石川孝司	高沢 隆	平林重吾	花岡和雄	ら く 楽	東 海 カ ン ト リ ー	豊橋クラブのフォーラムに出席 一部の人は観光
89年 5月15、16日	福井恒雄	高沢 隆	古池 汎	赤羽正久	あ づ み 野 ク ラ ブ ハ ウ ス	あ づ み 野 カ ン ト リ ー	松本南RCの例会に出席 一部の人は観光
89年 11月9、10日	内山 卯	高沢 隆	小野猛之進	平林重吾	伊 良 湖 ガ ー デ ン ホ テ ル	伊 良 湖 シ ー サ イ ド ゴ ル フ ク ラ ブ	豊橋クラブの例会に出席 一部の人は観光
90年 10月27、28日	森 澄	石川孝司	前田恒雄	古池 汎	穂高ビューホテル	あ づ み 野 カ ン ト リ ー	
91年 11月19、20日	伊藤松太郎	石川孝司	矢ヶ崎啓一郎	小野猛之進	平 野 屋	東 海 カ ン ト リ ー	
92年 9月27、28日	石原吉三郎	石川孝司	百瀬了介	前田恒雄	東 急 イ ン	あ づ み 野 豊 科 カ ン ト リ ー	2600 地区大会に出席、花岡和雄がバナーになる
94年 3月3、4日	神野紀郎	石川孝司	高見二郎	矢ヶ崎啓一郎	豊 橋 グ ラ ン ド ホ テ ル	キ ャ ッ ス ル ヒ ル カ ン ト リ ー	
95年 9月12、13日	三浦多久二	福井恒雄	小林 宏	百瀬了介	東 急 イ ン	穂 高 カ ン ト リ ー	
96年 3月23、24日	佐野 清	福井恒雄	中島清好	高見二郎	豊橋グランドホテル 伊良湖ガーデンホテル	伊 良 湖 シ ー サ イ ド ゴ ル フ ク ラ ブ	松本南RC歓迎例会 伊良湖にて地曳網とバーベキュー
96年 10月21、22日	松井英治郎	福井恒雄	石井勇二	小林 宏	旅 館 す ぎ も と	松 本 浅 間 カ ン ト リ ー	
97年 9月6、7日	磯村直英	福井恒雄	中村道紀	中島清好	豊 橋 グ ラ ン ド ホ テ ル	キ ャ ッ ス ル ヒ ル カ ン ト リ ー	炎の祭典参加
98年 9月20、21日	佐藤脩次	神野紀郎	市川博淳	石井勇二	明 神 館	松 本 カ ン ト リ ー	美ヶ原、安曇野を観光
99年	松井章悟	神野紀郎	中村欽哉		お 休 み		
00年 8月10日	神野義郎	神野紀郎	金井清志	市川博淳	式典 ライブポート		祝賀会 豊橋グランドホテル
01年 4月7日					式典 松本東急イン		懇親会 松本東急イン
01年 11月10、11日	大島照夫	神野紀郎	鈴木 裕	中村欽哉	伊 良 湖 ガ ー デ ン ホ テ ル	伊 良 湖 シ ー サ イ ド ゴ ル フ ク ラ ブ	伊勢神宮 おかけ横丁を観光
02年 10月12、13日	青木公貞	神野紀郎	的場文造	金井清志	ホ テ ル 翔 峰	松 本 浅 間 カ ン ト リ ー	上高地
04年 4月24、25日	長屋孝美	神野紀郎	横沢徳人	花岡武男	豊 橋 グ ラ ン ド ホ テ ル	無 し	浜名湖花博
04年 10月30、31日	中西芳夫	神野紀郎	花岡武男	的場文造	ウ エ ス ト ン 浅 間	穂 高 カ ン ト リ ー	馬籠宿・ 高瀬川テブコ館
05年 9月17日	上村健介	長屋孝美	土橋伊久雄	横沢徳人	ロ ー タ リ ー 館	-	愛・地球博
06年 10月14、15日	黒谷尚弘	中西芳夫	小笠原隆元	花岡武男	ホ テ ル テ プ エ ナ ビ ス タ	松 本 カ ン ト リ ー	別所温泉
07年 11月10、11日	石川百代	上村健介	飯島和彦	土橋伊久雄	ホ テ ル シ ー パ レ ス リ ゾ ー ト	三 河 カ ン ト リ ー	三河湾クルーズ
08年 10月5日	花田邦司	高須博久	池上博久	小笠原隆元	-	松 本 カ ン ト リ ー	-
09年 10月4日	竹内清人	柴田宏巳	縣 正長	土橋伊久雄	-	明 智 ゴ ル フ 倶 楽 部	-
10年 10月2日	村井總一郎	佐々木利政	竹内永浩	土橋伊久雄	-	春 日 井 カ ン ト リ ー	松本南RC 創立50周年
11年 10月2日	宮田正人	高山景一	倉科晶夫	縣 正長	-	中 京 ゴ ル フ 倶 楽 部 石 野 コ ー ス	
12年 9月30日	石黒 功	縣 政行	藤野優二	竹内永浩	-	松 本 浅 間 C C	
13年 9月29日	高須博久	松坂良太	甕 奉邦	倉科晶夫	-	東 建 塩 河 C C	
14年 9月28日	富田佳央	池田 至	小岩井高	野本喜永	-	豊 科 C C	

開催年月日	豊橋RC		松本南RC		親睦ゴルフ会	その他
	会長	幹事	会長	担当委員長		
15年 9月12、13日	牧野 渉	紅林 友昭	茅野 芽九六	薨 奉 邦	浜名湖 C C	炎の祭典参加
16年 9月24、25日	佐々木利政	山本光伸	荒井健治	久根下 齊	穂高 C C	
17年 9月10日	鈴木良昌	福井 敬	林 清 平	茅野 芽九六	藤岡 C C	
18年 9月16日	高山景一	川村荒治	花岡 徹	花岡 貞夫	穂高 C C	
19-20年度	縣 政 行	石川昌義	原 昌 伸	林 清 平	中止	
20-21年度	権田隆実	近藤 眞	赤羽正康	花岡 徹	中止	
21-22年度	松坂良太	佐藤裕彦	山口尚徳	原 昌 伸	中止	
22-23年度	池田 至	三浦裕司	小林磨史	小林 稔政	ユージュリーナ中津川 ゴルフ倶楽部	
23-24年度	福井 敬	伊藤晴康	野本喜永	山口尚徳	松本浅間 C C	

13. 趣味の会

若い会員から先輩の皆様、また家族の皆様まで楽しんで頂けます。積極的にご参加をお待ちしております。

- | | | | | | |
|------------|-----------------|-------|-------|-------|--|
| 1. ゴルフ会 | | | | | |
| 会 長 | 牧野 渉 | | | | |
| 副 会 長 | 富田 佳央 | | | | |
| 代表幹事 | 佐々木利政 | | | | |
| 会 計 | 紅林 友昭 | | | | |
| 幹 事 | 鈴木 良昌 | 縣 政行 | 福井 敬 | 神野 吾郎 | |
| | 浅倉 伸治 | 岩瀬 清 | 久保田充三 | 野寄 誠三 | |
| | 山口 耕平 | 伊藤 恭三 | 伊藤 健一 | 井上 泰宏 | |
| | 村雲 晃 | 山本 勘司 | 西島 豊 | 笠原 元樹 | |
| 特命幹事 | 山本 勘司 | | | | |
| 2. 囲碁の会 | | | | | |
| 会 長 | 鈴木 邦夫 | | | | |
| 代表幹事 | 鈴木 良昌 | | | | |
| 幹 事 | 渡部 茂久 | 河合 勝男 | 富田 佳央 | | |
| 3. テニス同好会 | | | | | |
| Capt. | 松井 章悟 | | | | |
| Manager | 佐藤 裕彦 (会計) | | | | |
| Ball Boy | 花田 邦司 | 高須 博久 | 富田 佳央 | 高山 景一 | |
| | 杉田 洋 | | | | |
| 4. 釣り天狗クラブ | | | | | |
| 会 長 | 西郷 隆治 (豊橋ゴールデン) | | | | |
| 代表幹事 | 石川 昌義 (豊橋) | | | | |
| 幹 事 | 伊藤 篤哉 (豊橋東) | | | | |
| | 辻 信之 (豊橋ゴールデン) | | | | |
| 5. 家庭菜園クラブ | | | | | |
| 会 長 | 石黒 功 | | | | |
| 幹 事 | 宮田 正人 | 高須 博久 | 松坂 良太 | 高橋 豊彦 | |
| | 井川 和英 | 荒島 一実 | 井口 貴嗣 | 伊藤 健一 | |
| 6. 雪だるまの会 | | | | | |
| 会 長 | 権田 隆実 | | | | |
| 幹 事 | 松坂 良太 | 大塩啓太郎 | 杉田 洋 | | |
| 7. 魚おろし教室 | | | | | |
| 魚アドバイザー | 杉江 秀介 | | | | |
| 代表幹事 | 鈴木 良昌 | | | | |
| 幹 事 | 石川 昌義 | 宮田 正人 | 富田 佳央 | 松坂 良太 | |
| | 山本 勘司 | | | | |